

# 祝 辞



公益社団法人 日本ペストコントロール協会

会長 山口 健次郎

公益社団法人東京都ペストコントロール協会創立50周年を心からお慶び申し上げます。そして、歴代の協会役員、関係者方々にとっても、お慶びはひとしおのものと存じます。

公益社団法人東京都ペストコントロール協会は、その成立から現在に至る発展の歴史をあらためて振り返りますと、日本のペストコントロール業界発展の歴史そのものともいえます。

昭和39年(1964年)の東京オリンピック関連施設の害虫防除業務取得の受託のため結成された同業組合が前身となり、昭和43年(1968年)東京都害虫ねずみ駆除消毒事業協同組合が設立。初代理事長 大森靖男氏が就任されてから、今年平成30年(2018年)が50年目の節目の年となりました。

80会員でスタートした協会員が、現在120の会員を数える協会となりました。協会員資質の向上の為の試みや技術情報の発信など、多くの素晴らしい業績があります。そして、近年多発している感染症対応や災害時の衛生隊の出動など、他県協会の目標となる会員の組織化は、会員ばかりでなく市民に向けた活動として、公衆衛生保持を標榜する日本のペストコントロール業界発展の大きな支えとなっています。

ペストコントロール業界の事業環境は近年大きく変化しています。グローバル化した日本の玄関東京から、ペストコントロール業の認知度向上や社会的地位の確保への活動など、市民生活に対する活動と共に、業界が期待するリーダーとしての役割にも、今後も更に貢献して頂きたいと願います。

貴協会の更なる発展を心から願い、祝辞と致します。